

A 2
A 81
A 82
A 83

数 学
日 本 史
世 界 史
政 治 ・ 経 済

この冊子は、数学，日本史，世界史 および 政治・経済
の問題を 1 冊にまとめてあります。

経営学科は数学，日本史，世界史，政治・経済のいずれかを選択
ビジネスエコンミクス学科は数学指定

数学の問題は，1 ページより 3 ページまであります。
日本史の問題は，4 ページより 27 ページまであります。
世界史の問題は，28 ページより 49 ページまであります。
政治・経済の問題は，50 ページより 66 ページまであります。

〔注 意〕

- (1) 試験開始の指示があるまで，この冊子を開いてはいけません。監督者から試験開始の指示があったら，初めに問題冊子のページ数を確認してください。ページの落丁・乱丁，印刷不鮮明等に気づいた場合は，手を挙げて監督者に知らせてください。
- (2) 監督者から受験番号等記入の指示があったら，解答用紙に志望学科と受験番号を記入してください。また，解答用マークシートに受験番号と氏名を記入し，さらに受験番号と志望学科をマークしてください。
- (3) 数学，日本史，世界史，政治・経済のうち，1 科目だけを解答してください。複数科目解答した場合は，採点されません。
- (4) 試験開始後，解答用紙と解答用マークシートの選択科目マーク欄に，選択した科目を必ず 1 つマークしてください。マークした科目だけを採点します。選択科目マーク欄にマークがされていない場合，又は，2 つ以上マークした場合は採点されません。
- (5) 解答は，所定の解答用紙に記入したもの及び解答用マークシートにマークしたものだけが採点されます。
- (6) 解答用マークシート上部に記載されている解答上の注意事項を，必ず読んでから解答してください。
- (7) 問題冊子は，試験終了後，持ち帰ってください。

日 本 史

- 1 明治時代の政治・経済・産業に関する次の文章A～Cを読み、設問(1)～(4)に答えなさい。(33点)

A 1869年、新政府は薩摩・長州・土佐・肥前の4藩主に朝廷へ^a版籍奉還を出願させると、他藩の藩主もこれにならい、新政府が全国の支配権をおさめた。しかし、藩を廃止することへの抵抗は大きく、藩は実質的に存続したため、新政府による全国支配は形式上のものであった。そこで、新政府は **ア** から御親兵をつのって軍事力を固めたうえで、1871年に廃藩置県を断行した。これに伴い、^b知藩事にかわって府知事・県令が地方行政にあたることとなった。また、中央政府の組織の整備も進められ、1871年、太政官制は三院制となり、政治の最高機関である **イ** のもとに各省がおかれた。こうした一連の改革を通じて新政府の中央集権体制が強化された。

- (1) 下線部aにおける版と籍の意味として正しいものを下の1～4のうちから1つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

	版	籍
1	領 地	領 民
2	年 貢	官 職
3	官 職	家 禄
4	領 民	領 地

- (2) **ア** に当てはまるすべての藩名を解答用紙の指定欄に記入しなさい。

(3) 下線部bの知藩事に関する記述として正しいものを下の1～4のうちから1つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 旧幕府領の要地の知藩事には公家が派遣された。
- 2 旧大名が旧領地の知藩事に任命された。
- 3 知藩事は藩閥官僚とも呼ばれた。
- 4 定期的に全国の知藩事による地方官会議が開催された。

(4)

イ

 に当てはまる言葉として正しいものを下の1～4のうちから1つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 元老院
- 2 右 院
- 3 左 院
- 4 正 院

B 最大規模の士族反乱であった西南戦争の戦費を調達するため、政府は不換紙幣を増発した。また、1876 年の 改正で正貨兌換義務が取り除かれたことにより、ぞくぞくと が設立されて不換銀行券を発行した。その結果、国内で激しいインフレーションが生じた。

このような状況下で、1880 年、政府は一部の官営工場を払い下げの方針を決め、工場払下げ概則を公布した。翌年、大蔵卿に就任した は、増税で歳入の増加をはかり、軍事費を除いて歳出の抑制を徹底した。また、歳入の剰余金をもとに不換紙幣の処分をおこなった。こうした緊縮的な財政政策によってインフレはおさまったが、負の影響も生じた。

(5) と に当てはまる言葉の組合せとして正しいものを下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- | | |
|------------|--------|
| 1 ウ 普通銀行条例 | エ 普通銀行 |
| 2 ウ 新貨条例 | エ 国立銀行 |
| 3 ウ 国立銀行条例 | エ 国立銀行 |
| 4 ウ 地租改正条例 | エ 普通銀行 |

(6) 下線部 c について、当時のインフレーションが及ぼした影響として正しいものを下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 政府による価格等統制令のもと、公定価格制が導入されることとなった。
- 2 紙幣でおさめられる定額の地租を中心とする政府の歳入は実質的に低下した。
- 3 米の安売りを求めて民衆が警官隊と衝突するなど、米騒動が富山県から全国へと拡大した。
- 4 熱狂的な「ええじゃないか」の集団乱舞が発生した。

(7) 下線部 d について、政府が一部の官営工場の払い下げを決めた理由を解答用紙の指定欄に 40 文字以内で記述しなさい。

(8)

オ

 に当てはまる人名として正しいものを下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 伊藤博文
- 2 大隈重信
- 3 岩倉具視
- 4 松方正義

(9) 下線部 e について、当時の緊縮政策による負の影響として正しいものを下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 税負担が非常に重くなり、多くの自作農が土地を手放して小作農になった。
- 2 公債を元手に慣れない商売に手を出して失敗する士族が多数出た。
- 3 深刻な不況を招き、米や繭などの価格が高騰した。
- 4 困窮した農民による血税一揆が頻発した。

C 政府は富国強兵をめざして殖産興業に取り組んだ。まず、資本主義経済への^f
阻害要因を取り除くため、封建的な諸制度を廃止した。

また、欧米からの先進技術の積極的導入によって工業の発展を促すために、
官営模範工場を設立するなどさまざまな官営事業を立ち上げた。代表的な例と
して、群馬県に官営の 力 を設けてフランスの先進技術を導入し、主要
な輸出品目である生糸の生産拡大に力を入れ、工女の養成をおこなった。

通信では、キ の建議により、飛脚にかわって官営の郵便事業が開始
された。海運では、岩崎弥太郎が経営する三菱会社が政府の保護を受けて発展
した。^g 鉄道については、工部省が中心となって官営鉄道の敷設に着手し、^h
開港場と主要都市が結ばれた。

(10) 下線部 f について、当時の政府による取り組みとして誤っているものを下
の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 株仲間の廃止
- 2 関所の撤廃
- 3 秘密警察の廃止
- 4 居住・職業選択の自由の承認

(11) 力 に当てはまる工場名を解答用紙の指定欄に記入しなさい。

(12) キ に当てはまる人名として正しいものを下の 1～4 のうちから 1
つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 山形有朋
- 2 木戸孝允
- 3 後藤象二郎
- 4 前島密

(13) 下線部 g で述べられている岩崎弥太郎のように、政府から特権を与えられて事業を開拓し、独占的な利益をあげた資本家は何と呼ばれたか。解答用紙の指定欄に記入しなさい。

(14) 下線部 h について、1872 年に官営鉄道が開通した区間として正しいものを下の 1 ～ 4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 新橋・横浜間
- 2 東京・神戸間
- 3 神戸・大阪間
- 4 大阪・京都間

- 2 江戸時代初期における政治・経済・文化に関する下の文章A～Cを読み、設問(1)～(10)について答えなさい。(24点)

A 天下分け目といわれる戦いに勝利した徳川家康は、1603年に征夷大将軍の宣下を受け江戸に幕府を開いた。幕府は1615年に、大名の居城を一つに限る一国一城令や武家諸法度を制定して大名を厳しく統制した。2代将軍秀忠は、1617年に大名・公家・寺社に領地の確認文書を発給し、全国の土地領有者としての地位を明示するなど、幕藩体制の確立を目指した。

幕府の職制は、徳川家康・秀忠時代に側近達が担ってきたものを改め、3代将軍家光の頃までに整備された。幕府と藩の機構の整備^aと合わせて、幕府は、天皇・朝廷がみずから権力をふるったり、他大名に利用されることのないよう、公家衆法度^bや禁中並公家諸法度を制定して、朝廷運営の基準を明示した。また、京都所司代らに朝廷を監視させたほか、摂家に朝廷統制の主導権をもたせた^c。

江戸時代初期には活発な海外貿易も行われるようになっていたが、幕藩体制^dが固まるにつれて、日本人の海外渡航や貿易に制限が加えられるようになった。幕府は島原の乱を鎮圧後、1641年にはオランダ商館を長崎の出島に移し、以後、200年余り鎖国が続くこととなった。

- (1) 下線部 a について、幕府と藩の機構に関する次の記述Ⅰ～Ⅴを読んで、正誤の組合せとして正しいものを下の1～4のうちから1つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- Ⅰ 初め大年寄と呼ばれた重臣が、後に老中と呼ばれ政府を統轄した。
- Ⅱ 臨時の最高職である大老は、重要事項の決定のみ合議に加わった。
- Ⅲ 寺社奉行・町奉行・勘定奉行が三奉行としておかれた。
- Ⅳ 勘定奉行は將軍直属で譜代大名から任命された。
- Ⅴ 町奉行は、重要都市として京都・大坂・駿府のみにおかれた。

- 1 Ⅰ 誤, Ⅱ 正, Ⅲ 正, Ⅳ 誤, Ⅴ 正
- 2 Ⅰ 誤, Ⅱ 正, Ⅲ 正, Ⅳ 誤, Ⅴ 誤
- 3 Ⅰ 正, Ⅱ 誤, Ⅲ 正, Ⅳ 誤, Ⅴ 誤
- 4 Ⅰ 正, Ⅱ 誤, Ⅲ 誤, Ⅳ 正, Ⅴ 正

- (2) 下線部 b について、公家の務めとして土御門家に命じられた家業として正しいものを、下の1～4のうちから1つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 神祇道
- 2 陰陽道
- 3 蹴鞠
- 4 禁裏小番

- (3) 下線部 c について、京都所司代と連絡をとりながら、朝廷に幕府側の指示を与えた公家を何と言うか。その公家の職名を解答用紙の指定欄に記入しなさい。

- (4) 下線部 d について，日本人の海外渡航や貿易に制限が加えられるようになった理由として，キリスト教の禁教政策の他に考えられる主な理由は何か。その理由を解答用紙の指定欄に記入しなさい。

右のページは白紙です。

B 幕藩体制の確立を受けて、士農工商に基づく社会秩序が形成されていった。中でも、近世の社会を構成した最大の要素は村と百姓であった。百姓の小経営^eと暮らしを支える自治的な組織は、農業生産のうえに成り立つ幕藩体制にとつて、もっとも重要な基盤となった。また幕府は、百姓の小経営^fを安定させ、一方で貨幣経済にあまり巻き込まれないようにし、年貢・諸役の徴収を確実にしようと努めた。

17 世紀後半になると、都市に集まってくる様々な生産物は、ア から イ を経て、ウ に卸され、販売されるという仕組みが構築されていった。問屋や仲買は、都市や生産地で業種ごとに仲間・組合と呼ばれる同業者団体をつくり、営業権を独占しようとした。

(5) 下線部 e について、百姓と農業に関する次の記述 I ～Ⅳを読んで、正誤の組合せとして正しいものを下の 1 ～ 4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- I 本百姓の負担は、本途物成が中心で、石高の 40～50 % を領主に納めた。
- II 年貢率には、その年の収穫に応じて決める定免法と、一定期間は同じ率を続ける検見法とがあった。
- III 村政に参加する本百姓は、石高持の戸主で男性に限定された。
- IV 17 世紀末から、有力な都市商人が資金を投下して開発する町人請負新田がみられるようになった。

- 1 I 正, II 誤, III 誤, IV 正
- 2 I 正, II 正, III 誤, IV 誤
- 3 I 誤, II 正, III 誤, IV 正
- 4 I 誤, II 正, III 正, IV 誤

- (6) 下線部 f について、下の文章は農民を統制するために 1673 年に出された法令の一部について記したものである。その法令の名称を、解答用紙の指定欄に記入しなさい。

一 名主、百姓、田畑持候^{おおづも}大積り、名主貳拾石以上、百姓は拾石以上、それより内^{うち}二持候者は石高猥^{みだ}りに分^わヶ申間敷^{もうすまじきむね}旨御公儀様より仰せ渡され候間、自今以後其旨堅く相守り申すべき旨仰せ付けられ畏^{かしこみ}奉り候。・・・

- (7) ア ～ ウ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下の 1 ～ 4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

	ア	イ	ウ
1	小売商人	仲 買	問 屋
2	仲 買	問 屋	小売商人
3	問 屋	仲 買	小売商人
4	問 屋	小売商人	仲 買

C 江戸時代初期の文化は、桃山文化を受け継いだ^gが、幕藩体制が安定するにつれて、寛永期前後に新しい傾向を示し始めた。学問・建築・工芸・絵画などの分野で様々な進展がみられ、後の元禄文化に引き継がれることになった。

学問においては、室町時代に五山の禅僧が学んでいた朱子学を中心に、儒学が盛んになった。朱子学は上下の秩序を重んじる学問であったため、幕府や藩に受け入れられた。また、絵画や工芸においても代表的な作品が数多く生み出された。特に工芸においては、文禄・慶長の役の際に、諸大名がつれ帰った朝鮮人陶工の手で登窯や絵付の技術が伝えられ、九州・中国地方の各地で陶磁器生産が始められた。

(8) 下線部 g について、五山の別格上位の寺として正しいものを、下の 1～4 のうちから 1 つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- 1 天龍寺
- 2 東福寺
- 3 円覚寺
- 4 南禅寺

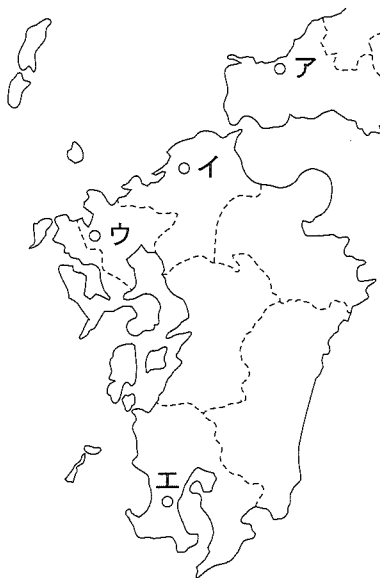
- (9) 下線部hについて、寛永期の絵画と工芸に関する次の記述Ⅰ～Ⅳを読んで、正誤の組合せとして正しいものを下の1～4のうちから1つ選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

- Ⅰ 狩野探幽は、狩野派から出てきて、幕府の御用絵師となった。
- Ⅱ 俵屋宗達は、錦絵の画法を基に装飾画の新様式を生み出し、後に元禄期の琳派の先駆となった。
- Ⅲ 本阿弥光悦は、書や蒔絵ですぐれた作品を生み出し、舟橋蒔絵硯箱が有名である。
- Ⅳ 酒井田柿右衛門は、下絵付の技法で赤絵を完成させた。

- 1 Ⅰ 正, Ⅱ 誤, Ⅲ 誤, Ⅳ 誤
- 2 Ⅰ 正, Ⅱ 誤, Ⅲ 正, Ⅳ 誤
- 3 Ⅰ 誤, Ⅱ 正, Ⅲ 正, Ⅳ 正
- 4 Ⅰ 誤, Ⅱ 正, Ⅲ 正, Ⅳ 誤

- (10) 下線部 i について，各地に誕生したお国焼と地図上の場所の組合せとして正しいものを下の1～4のうちから1つ選び，解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。

	焼物名	大 名	地 図
1	有田焼	松浦氏	エ
2	薩摩焼	島津氏	ウ
3	萩 焼	鍋島氏	ア
4	高取焼	黒田氏	イ



右のページは白紙です。

- 3 室町時代に関する次の文章A～Cを読んで、設問(1)～(3)について適切な番号を選び、解答用マークシートの指定欄にマークしなさい。(28点)

A 6代将軍足利義教は、将軍権力の強化を狙って専制的な政治を行った。1438年に義教は関東へ討伐軍を送り、翌年、幕府に反抗的な鎌倉公方 **ア** を討ち滅ぼす永享の乱^aがおこった。義教はその後も有力守護の弾圧を繰り返したために、赤松満祐による **イ** がおこり、義教は殺害された。**イ** の後、将軍権力の弱体化に伴って有力守護家や将軍家に相次いで内紛がおこった。^b まず畠山・斯波の両管領家に家督争い^cがおこり、ついで8代将軍 **ウ** の弟義視と、息子の義尚を後継に推す妻の日野富子との間に家督争い^cというかたちの権力闘争^dがおこった。そして当時、幕府の実権を握ろうとして争っていた細川勝元と **エ** がこれらの家督争いに介入したために対立が激化し、1467年に戦国時代の幕開けとなる応仁の乱^dがはじまった。

- (1) **ア** ～ **エ** にあてはまる言葉の組み合わせとして正しいものを、下の1～4のうちから1つ選びなさい。

	ア	イ	ウ	エ
1	足利義政	嘉吉の変	足利義満	畠山持富
2	足利持氏	結城合戦	足利義政	山名宗全
3	足利持氏	嘉吉の変	足利義政	山名宗全
4	足利義政	応永の乱	足利持氏	畠山持富

(2) 下線部 a に関して、この時代におこった史実として古いものから年代順に正しく配列したものを、下の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

- 1 上杉禅秀の乱 — 永享の乱 — 享徳の乱
- 2 永享の乱 — 享徳の乱 — 結城合戦
- 3 上杉禅秀の乱 — 享徳の乱 — 永享の乱
- 4 永享の乱 — 上杉禅秀の乱 — 享徳の乱

(3) 下線部 b に関連して、室町時代の政治と財政に関する次の記述 I～IV を読んで、正誤の組合せとして正しいものを下の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

- I 室町幕府は、將軍権力を支える軍事力の育成につとめ、古くからの足利氏の家臣、守護の一族、有力な地方武士などを集めて奉公衆と呼ばれる直轄軍を編成した。
- II 室町幕府の財政は御料所からの収入、守護の分担金などで賄われていたが、土倉や酒屋からの土倉役・酒屋役も重要な財源になっていた。
- III 国家的行事の際には、守護を通して全国的に田 1 反、家屋 1 棟につきいくらと定めた段銭や棟別銭を賦課することもあった。
- IV 室町幕府の地方機関としては、鎌倉府、九州探題、奥州探題、羽州探題、六波羅探題から成り立っていた。

- 1 I 正, II 誤, III 誤, IV 誤
- 2 I 正, II 正, III 正, IV 誤
- 3 I 誤, II 誤, III 正, IV 正
- 4 I 誤, II 誤, III 正, IV 誤

(4) 下線部 c に関連して、室町時代の家督争いに関する次の記述Ⅰ～Ⅳについて、正しい記述の組合せを下の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

- Ⅰ 鎌倉時代からの惣領制が崩壊しつつあり、変わって本家と分家が独立してそれぞれの家の中で嫡子が全部の所領を相続するようになった。
- Ⅱ 享徳の乱を機に、鎌倉公方は足利成氏の堀越公方と足利政知の古河公方に分裂し、関東管領上杉氏も山内・扇谷の両上杉家に分裂して争った。
- Ⅲ 室町時代に入ると単独相続が一般的になったものの、嫡子の立場が庶子に比べ圧倒的な優位性を有するのは、織田信長が実権を握る 16 世紀後半頃からとされる。
- Ⅳ 1493 年に管領の細川氏は 10 代将軍足利義稹(義材)を廃位する政変を起こし幕府の実権を握ったが、細川氏はその後の権力争いの中で家臣の三好長慶に実権を奪われた。

1 Ⅰ — Ⅱ 2 Ⅰ — Ⅲ 3 Ⅰ — Ⅳ 4 Ⅱ — Ⅳ

(5) 下線部 d に関連して、応仁の乱とこれがもたらした影響について正しい記述を下の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

- 1 日明貿易で栄えた大内氏の城下町山口には、応仁の乱から逃れてきた五山の禅僧や公家が多く集まり、儒学・有職学・五山文学などが栄えた。
- 2 応仁の乱は幕府を東西軍に分断して争われたが、東軍には 20 か国 11 万人、西軍には 24 か国 16 万人が参加し、戦闘は京都を主戦場に 20 年以上にわたって争われた。
- 3 応仁の乱を契機に下剋上の風潮が強まり、住民自治の先駆けともいえる山城の国一揆がおこり、この地の守護であった斯波氏は国外退去を求められた。
- 4 応仁の乱では足軽という軽装歩兵が活発に活動したことから、京の街は荒廃した。その一方で足軽の活躍によってこの時代に北山文化は花開き、その快活性が生活の中に取り込まれた。

右のページは白紙です。

B 室町時代に入る頃になると、惣村^eの有力者の中でも守護大名などと主従関係を結んで侍身分を獲得し、それを根拠に荘園領主や地頭が賦課する公事や夫役などを拒否する地侍のようなものも多く現れてきた。彼らの中には惣村から離脱して本格的に武士への道を歩むものもいれば、惣村にとどまって村民を指導し続けるものもいた。この惣村を母体とした農民勢力^fが、大きな力となって中央の政界に衝撃を与えたのが、正長の土一揆^gである。この年の9月、京都近郊の惣村の結合をもとにした土一揆が徳政を要求し、京都の土倉・酒屋^hなどを襲って、質物や売買・貸借証文を奪った。この土一揆は将軍の代がわりを機に徳政を期待する庶民の願望を背景に引き起こされたものの、その勢いはたちまち近畿地方やその周辺に広がり、各地で実力による債務放棄・売却地の取り戻しなどの徳政実施行動が展開された。

(6) 下線部 e について、惣または惣村についての誤っている記述を下の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

- 1 鎌倉時代後期から発展してきた、近畿地方やその周辺部において村人たちが自ら運営する自立・自治的な村を惣または惣村という。
- 2 惣村では、祭礼や農業の共同作業を通して、従来からの名主らと新興の小農民との結びつきが強まった。
- 3 村民は守るべき規約である惣掟を定めて自分たちで違反者を罰したが、掟の中には警察権・裁判権に関する村民の自治を明記した自検断(地下検断)に関するものもあった。
- 4 惣村の発展に併せて、領主へおさめる年貢や公事などについて、領主と交渉して惣村がひとまとめにして請け負う守護請が広がっていった。

- (7) 下線部 f に関連して、(A)と(B)を表す用語として正しいものをそれぞれ 1 ～ 4 のうちから 1 つ選びなさい。

- (A) 上層農民を中心として集まる惣村の寺社の祭祀組織
(B) 惣村の自治的運営の代表者

- 1 宮 座 2 乙 名 3 組 頭 4 一味神水

- (8) 下線部 g について、以下の文章は正長の土一揆について書かれたものである。この文章に関して述べた次の記述Ⅰ～Ⅳを読んで、正誤の組合せとして正しいものを下の 1 ～ 4 のうちから 1 つ選びなさい。

九月 日、一天下の土民蜂起す。徳政と号し、酒屋・土倉・寺院等を破却せしめ、^{ぞうぶつ ほしいまま} 雑物等 恣 にこれを取り、^{ことごと} 借錢等 悉 くこれをやぶる。^{かんれい} 管領これを成敗す。^{およ もとい} 凡そ亡国の基、これに過ぐべからず。日本開^{かいびやく}白 以来、土民蜂起^{こ はじめ}是れ初なり。〔『大乘院日記目録』〕

- Ⅰ 正長の土一揆が起こったのは 1428 年のことである。
Ⅱ 本文中の管領とは畠山満家をさす。
Ⅲ 正長の土一揆の要求には守護赤松氏の家臣を国外追放することも含まれていた。
Ⅳ この土一揆は 7 代將軍足利義勝の死後におこった。

- 1 Ⅰ 正, Ⅱ 正, Ⅲ 正, Ⅳ 正
2 Ⅰ 正, Ⅱ 正, Ⅲ 誤, Ⅳ 誤
3 Ⅰ 誤, Ⅱ 誤, Ⅲ 正, Ⅳ 正
4 Ⅰ 誤, Ⅱ 誤, Ⅲ 正, Ⅳ 誤

- (9) 下線部 h に関して述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを下の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

- Ⅰ 土倉・酒屋などの金融業者の活動が広がったのは、永楽通宝などの宋銭の利用が全国的に広がり、貨幣経済の発達があったからといわれる。
- Ⅱ 土倉・酒屋などの金融業者の活動の広がりの背景には、遠隔地取引の拡大もあった。遠隔地商人の間では為替手形の一種である糸割符の利用も盛んに行われた。

1 Ⅰ — 正, Ⅱ — 正

2 Ⅰ — 正, Ⅱ — 誤

3 Ⅰ — 誤, Ⅱ — 正

4 Ⅰ — 誤, Ⅱ — 誤

右のページは白紙です。

C 以下は大学で日本中世史を専攻する景子さんと雅彦さんとの会話である。

景子：あれ、雅彦さん、何を唸っているの？

雅彦：この前の『日本中世史』の講義で出されたレポートの課題が難しくて。締め切りも迫っているのに、アイデアが浮かばないんだ。

景子：え、課題って「戦国大名と下剋上ⁱについて説明しなさい」という例のやつ？

雅彦：そう。小学校の授業でも扱われたトピックを、改めて大学のレポート課題に出されるというその意味が分からなくて。

景子：そもそも何でそんな課題が出たのかしら。

雅彦：室町時代は鎌倉時代以来の武士の時代の価値観が継続していたということみたいけど、実際は相当変化したようで、相続や農村の運営形態も変化していたことを理解していなければならないと先生は言っていたな。

景子：宗教や文化的な影響^jも考えてみた方が良いんじゃない？

雅彦：室町時代の文化は鎌倉時代の風潮を受け継ぎつつ、南北朝の動乱^kによって既成の秩序が崩壊し、新興武士たちが伝統的権威を嘲笑する風潮もあつたみたいだね。こうした時代の雰囲気がある後に影響したのかもしれないね……。やはり景子さんに相談するのが一番だね。なんとなく書けそうな気がしてきたよ。有り難う！

(10) 下線部 i に関連して、守護大名から戦国大名に転身できた人物の組合せとして正しいものを下の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

1 上杉謙信、今川義元

2 北条早雲、武田信玄

3 今川義元、武田信玄

4 毛利元就、北条早雲

- (11) 下線部 i に関連して、戦国大名の下剋上と領国経営に関して述べた次の記述Ⅰ～Ⅳについて、正しい記述の組合せを下の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

- Ⅰ 美濃では、守護代の家を奪った斎藤道三は守護の尼子氏を滅ぼした。近江では浅井氏が守護の京極氏を圧倒した。
- Ⅱ 戦国大名は領国を安定させるために、家臣団に組み入れた多数の地侍を有力家臣に預ける形で組織した寄親寄子制を取り入れ軍事力を整えた。
- Ⅲ 戦国大名の中には、家臣団の統制と農民支配のために領国支配の基本法である分国法を制定するものもいた。
- Ⅳ 戦国大名は新たに支配した土地において検地を行った。検地によって把握された年貢量は錢に換算され、石高制の基礎となった。石高を基準に年貢や軍役が割り当てられた。

1 Ⅰ — Ⅱ 2 Ⅰ — Ⅲ 3 Ⅱ — Ⅲ 4 Ⅱ — Ⅳ

- (12) 下線部 j に関して、この時代の人物の名前イ～ニとその人物に関する説明Ⅰ・Ⅱとの組合せとして正しいものを下の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

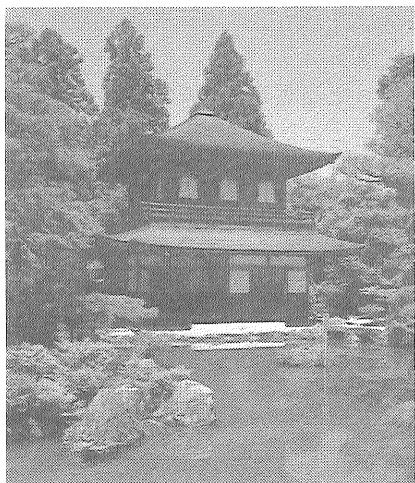
イ 日 親 ロ 村田珠光 ハ 蓮 如 ニ 一条兼良

- Ⅰ 茶と禅の精神の統一を主張し、茶室で心の静けさを求める佗茶を編み出し、茶道の基礎を築いた。
- Ⅱ 激烈な布教の精神に燃え、応仁の乱後、京都の辻々で宗派の教えを伝えて他宗と激しい宗論を戦わせた。

1 イ — Ⅰ, ロ — Ⅱ 2 イ — Ⅱ, ロ — Ⅰ
3 ハ — Ⅰ, ニ — Ⅱ 4 ハ — Ⅱ, ニ — Ⅰ

- (13) 下線部kについて、南北朝時代の作品として正しいものを下の1～4のうちから1つ選びなさい。

1



2



3



4



右のページは白紙です。

- 4 日本の第一次世界大戦参戦のねらいについて、当時の日本と中国、ドイツ、イギリス、アメリカとの関係を踏まえつつ、以下のキーワードを用いて 200 文字以内で記述しなさい。

(15 点)

【キーワード】

第一次世界大戦勃発、日英同盟、対華二十一か条の要求、旧ドイツの権益、委任統治領化

右のページは白紙です。

